
出どころ

summer

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
出どころ

【コード】
N7914P

【作者名】
summer

【あらすじ】
離婚したい主婦の慰謝料の出どころは・・・

「いらつしゃいませ。」

ここはある町外れの小さなバー。バーテンダーがお客さんの注文を聞きにドアの前を横切った時、ちょうどドアが開き、3人の女性が入ってきた。

彼女達はマティーニを3つ注文し、早速おしゃべりを始めた。

「最初からこんなに強い酒を頼むとは、かなりストレスが溜まっているようだな・・・ちよつと彼女達の会話に聞き耳をたてておいた方が良さそうだ・・・。」

バーテンダーは長年の経験からそう思った。彼はお客さんに対して3種類の会話をいつも心がけていた。それは『話しかける』『話を聞く』『客同士の会話』の3つだった。そして、その3つ目の『客同士の会話』を聞いておくというのがバーテンダーにとって最も重要な会話能力なのだと思っていた。

「ねえ、マスター！どう思う？」

3人の女性のうちの1人が急に聞いてきた。

彼は能力を発揮し、他のお客さんの注文を作りながらも彼女達の会話を聞いていたので、当たり前のように答えた。

「はい。ご主人の給料が安くてやっていけないので離婚したいということでしたね？お子様もいらつしゃるといふ事で、それはご苦労なされたでしょう・・・。」

彼は『客同士の会話』を聞いてはいても自分の意見は言わない事も大事だと思っていた。なぜなら自分が話に参加してしまうと、後々面倒なことになるからだ。相手をのせて喋らせる絶妙な相づち、これが彼の会話術の真骨頂だった。

彼の思惑通り、女性は2杯目のマティーニを飲み干し、ちよつと紅潮した顔で喋り続けた。

「そうよ！私はこれまでこんなに大変な苦勞をしたのだから、養育費と慰謝料請求して今後は楽に暮らすわ！私にはその権利があるはずよ！」

他の2人も同調し、立ち上がって大声でがなり始めた。

「そうよ！あんな甲斐性なしと暮らすよりも、今後の人生を楽に暮らした方がいいわよ！あなたの今までの苦勞からして、慰謝料1億円はもらわないと割に合わないわね！」

しまった、のせすぎてしまったようだ。このままでは、他の静かに飲んでいるお客さんに迷惑がかかってしまう。しかし彼女達をのせたのは自分。追いつく訳にもいかない・・・そこで彼は、興奮した3人の女性達のグラスに水を注ぎながらそつと話しかけた。

「・・・で、その1億円はどなたが支払うのです？」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7914p/>

出どころ

2010年12月29日13時30分発行